

授業科目 特別活動研究 II

| 【担当教員名】 佐藤 裕紀 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | スポ | |
|--|--------------------|---|-----------------------|-------|------------|
| | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 選択 | |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 | |
| 【ディプロマポリシーとの関連性】 | | | | | |
| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 | |
| ◎ | ○ | ◎ | ○ | ◎ | |
| 【概要・一般目標：GI0】 本講義は、以下の三点を目標とする。 1. 特別活動の学習指導案の作成とその実践を経験すること 2. 特別活動の実践を経験し、その指導の特徴を理解すること 3. 自身で設計した指導計画⇒その実践⇒省察するサイクルを理解すること | | | | | |
| 【学習目標・行動目標：SBO】 1. 学級活動の実践手法について大まかに理解することができる。 2. 学校現場での学級活動の実践の現状と課題について理解することができる。 3. 教科指導や、総合的な学習といった他の教育課程と特別活動の関係性について大まかに説明することができる。 4. 学級活動の学習指導案を作成する際の留意点を大まかに理解することができる。 5. 学習指導案に基づいて特別活動の実践を行うことができる。 6. 自己と他者の学習指導案や実践を客観的に考察、評価することができる。 7. 他者と共に協働で指導案作成、実践を行うことができる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 | | |
| 1 | 学級活動と学習指導案作成の留意点 | 1, 4 | 講義、グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 2 | 学級活動の実践、特別活動の現状と課題 | 1, 2, 4 | 講義、グループワーク、担当：佐藤 裕紀 他 | | |
| 3 | 学習指導案の作成及び特別活動の評価 | 1, 3, 4, 7 | 講義、グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 4 | 学習指導案の作成とプレゼンテーション | 1, 3, 4, 6, 7 | 講義、グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 5 | 特別活動の実践1 | 5, 6, 7 | グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 6 | 特別活動の実践2 | 5, 6, 7 | グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 7 | 特別活動の実践3 | 5, 6, 7 | グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 8 | 特別活動の指導上の特質とまとめ | 1, 4 | 講義、グループワーク、担当：佐藤 裕紀 | | |
| 【使用図書】 | | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
| 教科書 (必ず購入する書籍) | | なし | | | |
| 参考書 | | なし | | | |
| その他の資料 | | 資料は適宜配布する | | | |
| 【評価方法】 出席状況・講義内のミニレポート・グループワークへの参加状況と最終レポートなどを総合して評価する。 | | 【履修上の留意点】 特別活動研究 I を踏まえての内容が多いため、履修者には特別活動研究 I を履修中か履修済みであることを求める。 | | | |